

様式 2 は 15 頁以内でまとめてください。ただし、理解を深めるために必要な場合は、写真・グラフ等、追加の補足資料として本資料とは別に日本工業規格 A 列 4 番 5 頁まで認めます。

作成言語は原則日本語ですが、英文による作成も可能です。

(Form 2 should be summarized by 15 pages or less. If necessary for enriching understanding, additional 5 pages in A4 as annex of photographs and graphs. Description is written in Japanese in a general rule but English is also accepted.)

[様式 2]

(Form #2)

研究開発内容説明書(Description of R&D Proposal)

研究開発課題名を記入してください。(Fill the proposal R&D title.)

プログラム名 : ○○○研究開発

「若手 ICT 研究者等育成型(若手研究者枠)」、「若手 ICT 研究者等育成型(中小企業枠)」、「電波有効利用促進型(先進的電波有効利用型)」、「電波有効利用促進型(若手ワイヤレス研究者等育成型)」、「地域 ICT 振興型」の中から 1 つ記載してください。

(Write the program title that the applicant(s) applies to among “R&D programme for promoting ICT young researchers,” “R&D programme for promotion of Effective Use of Radio Spectrum (R&D programme for Advanced Effective Use of Radio Spectrum),” “R&D programme for promotion of Effective Use of Radio Spectrum (R&D programme for promoting young researchers in wireless communication technology),” “R&D programme for Regional Innovation by ICT”.)

1 研究開発の目的(Objectives of the Proposal R&D)

本研究開発を実施する目的に加え、社会的・経済的現状や背景、目的を達成するために解決すべき課題、社会的なニーズ等を具体的に記載してください。フェーズ I への提案の場合は、フェーズ II で予定している研究開発も踏まえて記載してください。

(The applicant(s) should describe the objectives of the proposal R&D, societal and economical trend, scientific and technological background, issues solved to accomplish the objectives, and societal requirements, and so on.)

2 研究開発成果の目標(Goals of R&D Outcome)

目標とする「研究成果」の最終目標と年度ごとの目標を具体的かつ可能な限り数値的に記載してください。フェーズ I への提案の場合は、フェーズ II で予定している研究開発も踏まえて、フェーズ I 及びフェーズ II それぞれについて年度別に記載してください。また、周辺分野の研究開発動向を踏まえ、その目標を設定した根拠について明確に記載してください。なお、論文・特許等の発表目標件数を様式 2 別表に記載して下さい。

(The applicant(s) should provide details of final goals and annual goals of the proposal R&D.)

記載例 : 平成○○年度 ○○技術において△△(数値)の性能を達成。

根拠 : ○○技術は、最終目標である××技術の創出に不可欠な技術であるため、既存の技術を基に◇◇の改良を加えることによって、平成○○年度内に数値目標を達成することを目標に掲げる。

3 研究開発計画(Details of R&D Work Plan)

本研究開発課題の研究開発項目及び手法、実施スケジュールを、必要に応じて予算計画(様式 4)、実施体制(様式 5、6)及び主要設備(様式 7~9)の内容を踏まえて研究開発項目毎に例のように線表により具体的に記載してください。フェーズ I への提案の場合は、フェーズ II で予定している研究開発計画についても年度別に記載してください。また、複数の研究機関で分担して研究開発を実施する場合は、各機関毎の分担内容を理解しやすいように記載してください。

(The applicant(s) should describe and explain the R&D items, methodologies, and the time schedule in detail. More concretely, describe the methodologies and time schedule concretely on Gantt chart or similar for each the R&D item (see an example) based on the budget plan (form 4), the project members (forms 5 and 6), and the major equipment currently used (forms 7, 8, and 9).)

For application to Phase I, also describe the details of R&D work plan in Phase II for each fiscal year. When the applicant(s) consists of multiple organizations, describe the work contents of each organization in easy-to-understand manner.

研究開発項目 (R&D items)	平成 28年度 (FY2016)	平成 29 年度 (FY2017)	平成 30 年度 (FY2018)	平成 31 年度 (FY2019)
(1) ○○に関する 研究開発 ① 研究開発推進 の検討 ② …に関する 要素技術の開 発 ③ …の要素技 術の試験 ④ 成果発表 (2) ●●に関する 研究開発 ① …の試作機 開発 ② …試作機に よる屋内実験 と実験結果の 解析 ③ …試作機によ る実地実験 ④ 成果発表		○○の計測器をレンタル ▲▲の開発 ▲▲大学において○ ○の試験及び評価	について論文投稿 △△研究所において○○の試 作機開発 ▲▲大学において 屋内実験と解析及 び評価	△△研究所において実地 実験と評価。必要に応じ て改良の上で再実験。 について論文投稿

4 関連研究開発の状況と本研究開発課題の位置付け

(Statement of Related R&Ds and Connection between Them and the Proposal R&D.)

(1) 研究開発実施者及び連携研究者における関連研究開発の状況

(Related R&D statement by the applicant(s) and collaborative researchers.)

本研究開発課題に関連する研究開発実施者（研究代表者及び研究分担者）及び連携研究者の研究開発状況について記載してください。

これまでの関連する論文、所有する知財等がある場合は、それらについても記載してください。

(2) 競争的資金により実施した関連研究開発

(Related R&D statement by competitive research fund program(s).)

過去5年以内に競争的資金で実施した研究開発課題（現在実施中の課題も含む。）のうち、本研究開発課題に関連するすべての課題について、

- ・当該課題の概要
- ・得られた成果（論文等の数のみならず、得られた事実や開発した装置の概要等も記述）
- ・本研究開発課題との関連性（当該課題による成果を本研究開発課題へどのように受け継いでいるか、など）または相違点

について、簡潔に記述してください。

(3) 国内外の他機関における関連研究開発の状況

(Domestic and overseas trends related to the proposal R&D and positioning of the proposal R&D.)

本研究開発課題は、我が国の水準及び国際的水準それぞれにおいてどこに位置付けられるか、国内外の他機関における研究開発状況との比較を具体的に示しながら技術・方式の優位性を記載してください。

5 目的達成に向けた取り組み

(Dissemination and Exploitation Plan for Achieving the Objectives.)

1. に掲げた目的を達成するため、本研究期間中を含め本研究終了後の研究開発成果により得られるアウトカム目標、及び社会実装を含めた取り組みについて記載してください。

(The applicant(s) should provide the dissemination and exploitation plan of results including social implementation in both the R&D period and later to achieve the objectives written in (1).)

6 「地域イノベーション戦略」の全体構想の実現への貢献(※)

※今回の若手 ICT 研究者等育成型追加公募では本項目は記載不要。

(Contribution to the Realization of Grand Design in “Regional Innovation Strategy Support Program”

(※ The applicant(s) to “R&D programme for promoting ICT young researchers (this extra call)” is not requested to fill the items in this section (Section 6)))

地域 ICT 振興型研究開発への提案の場合で、「地域イノベーション戦略推進地域」として選定された地域の構成機関からの提案の場合は、以下について記載すること。

(Fill the following items if the application is a proposal to the R&D programme for ICT Regional Innovation and The organization of the applicant(s) are included in the organizations in the regions selected as “Regional Innovation Strategy Promoting Regions” (*1))

*1 http://www.mext.go.jp/english/science_technology/1324629.htm

(1) 「地域イノベーション戦略」の全体構想のテーマ名・プログラム実施機関名

(The theme on the grand design in “Regional Innovation Strategy Support Program”)

「地域イノベーション戦略推進地域」への提案書に記載した「地域イノベーション戦略」の全体構想のテーマ名を 50 字以内で記載してください。また、プログラム実施機関名を記載してください。

(2) 「地域イノベーション戦略」の全体構想の概要

(Summary of the grand design in “Regional Innovation Strategy Support Program”)

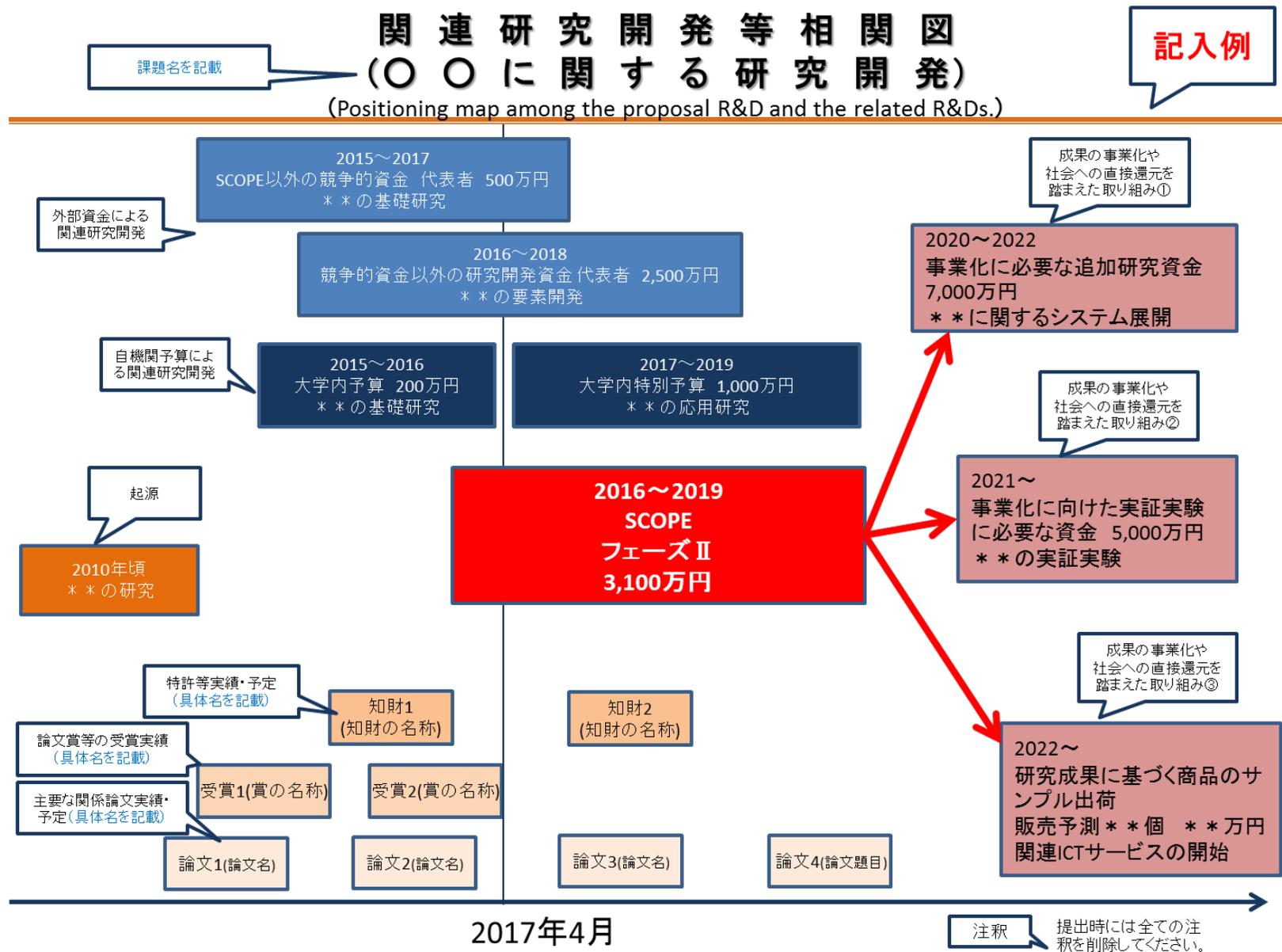
「地域イノベーション戦略推進地域」への提案書に記載した「地域イノベーション戦略」の全体構想の概要を 200 字以内で記載してください。

(3) 「地域イノベーション戦略」の全体構想の実現に向けた本研究開発の貢献

(Contribution of the proposal R&D toward realization of the grand design in “Regional Innovation Strategy Support Program”)

「地域イノベーション戦略」の全体構想の実現に、本研究開発がどのように資するのか、具体的に記載してください。

「様式2 2 研究開発課題の位置づけ (1) 研究開発実施者における関連研究開発の状況」を踏まえ、研究開発実施者における関連する研究開発との相関図を作成してください。



「○○ についての研究開発」の概要

研究代表者 : 氏名 (○○大学)
参画研究機関名 : ▲▲大学、△△研究所
研究開発期間 : 平成○年度～平成○○年度

【記載上の留意事項】

研究開発の概要について、必ず図や写真等を用いて、このページ1枚（日本工業規格A列4番横・カラー）で分かりやすく具体的に説明してください。本資料については、フォントサイズ、レイアウトは自由です。（本内容を公表することがあります。）

※説明図作成の際は、この留意事項は消してください。

平成〇〇年度研究開発予算計画書

年度毎に作成してください。

研究開発課題名を記入してください。

(単位:円。Ⅰ～Ⅳ及び直接経費合計の「金額」欄は千円未満は端数切捨。)

※「積算内容」は一円単位での計上。

項 目	積 算 内 容	金 額 [円]
I. 物品費		*, ***, 000
1. 設備備品費	機器名・形式(単価・個数を記載。リース・レンタルの場合は期間も記載。)	** , ***
2. 消耗品費	研究試料 * , ***円×数量	** , ***
II. 人件費・謝金		*, ***, 000
1. 研究員費	研究者 * , ***円×***人・時	** , ***
2. 研究補助員費	実験補助者 * , ***円×***人・時	** , ***
3. 謝金	〇〇に関する謝金	** , **
III. 旅費		*, ***, 000
1. 旅費	(〇〇—〇〇間) ** , ***円×*人・回	** , ***
IV. その他		*, ***, 000
1. 外注費	保守費、改造修理費、業務請負等	** , ***
2. 印刷製本費	印刷・製本代等	** , ***
3. 会議費	会場借料費	** , ***
4. 通信運搬費	回線使用料 * , ***円×**カ月	** , ***
5. 光熱水料	光熱費 * , ***円×**カ月	** , ***
6. その他(諸経費)	※詳細に記入のこと	** , ***
7. 消費税相当額	※不課税、非課税又は免税取引となる経費の消費税相当分	** , ***
直接経費合計	I + II + III + IV	** , ***, 000
V. 間接経費	(I + II + III + IV) × (間接経費の比率**%)	*, ***, *00
VI. 総 額	I + II + III + IV + V	** , ***, *00

◎注意事項

- 本様式の作成にあたっては、「情報通信分野における研究開発委託契約経理解説(競争的資金制度)」に基づいて、研究費の積算を正しく行ってください。本様式の内容は、評価の対象です。
(http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/scope/を参照のこと)
- 研究開発に必要な機器設備の調達方法の決定にあたっては、購入とリース・レンタルで調達経費を比較し、原則、安価な方法を採用していただくことになります。(本事業の研究費は「委託費」であるため、購入した物品は研究開発期間終了後に総務省所有の物品となります。)
- 本様式における「Ⅰ. 物品費」の積算に含めた研究設備については、その概要説明を様式8及び様式9に記述してください。
- 研究員の時間単価は、原則として総務省が別に通知する人件費標準単価表を用いてください。
(http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/scope/document/document.html「平成28年度経理解説様式集 様式2-3」を参照のこと)
- 標準単価表を用いない場合及び研究補助員の単価については、時間単価の根拠となる資料を求めることがあります。

研究開発体制説明書

研究開発課題名を記入してください。

1 研究開発の分担体制及び主要研究設備

本研究開発を実施するための体制や設備を記入してください。

研究設備については、様式4（予算計画書）に計上する研究設備（購入設備及びリース）、様式4（予算計画書）に記載しない自費などで調達する研究設備（自費調達設備（リースを含む。）、既存設備等の別に記載してください。

自費調達設備（リースを含む。）及び既存設備については、担当機関名を明記してください。また、様式4（予算計画書）に計上しない人件費（人件費×エフォート率）及び設備備品費の各機関の負担額合計と総計を明記してください。

なお、研究代表者、研究分担者のいずれも所属しない機関の研究補助者や研究設備は含まないでください。

(記入例)

研究代表者：総務 太郎（××大学大学院工学研究科教授）

①〇〇に関する研究

担当：総務 太郎（××大学大学院工学研究科教授）

霞ヶ関 花子（株式会社**研究開発部主任）

研究補助者（××大学〇〇名）

主な研究機器：〇〇〇〇（リース）

〇〇〇〇（購入設備）

〇〇〇〇（自費調達設備）

〇〇〇〇（既存設備）

株式会社**

××大学

②××に関する研究

担当：通信 一郎（++株式会社企画部部長）

虎ノ門 次郎（××大学大学院工学研究科助手）

研究補助者（××大学〇〇名）

主な研究機器：〇××〇（購入設備）

〇××〇（リース）

〇××〇（既存設備）

++株式会社

負担額	××大学	230万
	株式会社**	450万
	++株式会社	100万
	総計	780万

2 連携研究者に係る情報

本研究開発において、共同研究等により連携研究者が研究開発に協力する場合は、当該連携研究者に係る情報を記載してください。なお、連携研究者はSCOPEによる委託費を使用することはできません。詳しくは提案要領をご参照ください。

(記入例)

①△△に関する研究

総務 二郎（××大学大学院工学研究科教授）

虎の門 花子（株式会社**研究開発部主任）

②**に関する研究

通信 二郎（++株式会社企画部部長）

虎ノ門 一郎（××大学大学院工学研究科助手）

3 その他

研究開発体制を説明する上で参考となる情報（例：「日本学術振興会 博士課程リーディングプログラムに採択されている。」、「文部科学省 地（知）の拠点整備事業に選定されている。」等）があれば記入してください。

研究開発実施者経歴説明書

研究開発課題名を記入してください。

- 1 氏名（フリガナ） ○○ ○○ （ ）
- 2 年齢 平成 28 年 4 月 1 日現在 歳
- 3 性別 男・女
- 4 所属研究機関 ○○大学大学院
- 5 所属部署名 ○○学研究所 ○○専攻 ○○室
- 6 所属研究機関所在地 〒 - ○○県○○市○○
- 7 役職名 ○○
上記所属研究機関以外に兼職・兼業する機関及び役職がある場合、所属機関名（法人である場合はその旨を明記）、役職も記載してください。
- 8 学位等 博士（工学）（○○大学、○○専攻、○○年取得）
無線従事者資格（第○級○○無線技士）等
- 9 エフォート（平成 28 年度）

※年間の総仕事時間に対する本研究開発に従事する時間の割合（%）として計算してください。

※以下の記述においては、e-Rad に登録した情報との整合性を必ずとってください。

- ①戦略的情報通信研究開発推進事業 当該研究課題のエフォートを記載してください。 ○○%
研究分担者として、複数の研究開発課題に携わる場合には、それぞれの課題について課題名とエフォートを記載してください。
- ②他の競争的研究資金による研究開発 ○○%（計）
支援を受けているすべての競争的資金及び現在応募しようとしている競争的資金について、配分機関名、制度名・区分、研究開発課題名、研究期間、助成金額、本研究との関連及び相違点、各制度のエフォート（%）を明記してください。現在応募しようとしている競争的資金については、「研究期間」の部分で「申請中」又は「申請予定」と記載してください。支援を受けているにもかかわらず記載がない等、事実と異なる記載があった場合、採択後であっても研究実施を取り消す場合があります。

（記載例 1）

○○省、○○費・○○、○○○の研究開発、平成○○年～平成○○年、##円

当該研究は○○に関するものであり、SCOPE における研究開発は○○に関するものであるため、○○という点において異なる。

○○%

（記載例 2）

○○省、○○費・○○、○○○の研究開発、申請中、##円

当該研究は○○に関するものであり、SCOPE における研究開発は○○に関するものであるため、○○という点において異なる。

○○%

- ③他の外部資金による研究開発 ○○%（計）

1,000 万円以上の資金の助成のもの及び現在応募しようとしている外部資金について、制度名、研究開発課題名、研究期間、助成金額（期間中の総額）、本研究との関連及び相違点、各制度のエフォート（%）を明記してください。現在応募しようとしている外部資金については、「研究期間」の部分で「申請中」又は「申請予定」と記載してください。助成を受けているにもかかわらず記載がない等、事実と異なる記載があった場合、採択後であっても研究実施を取り消す場合があります。

（記載例 1）

○○省、○○費・○○、○○○の研究開発、平成○○年～平成○○年、##円

当該研究は○○に関するものであり、SCOPE における研究開発は○○に関するものであるため、○○という点において異なる。

○○%

（記載例 2）

○○省、○○費・○○、○○○の研究開発、申請中、##円

当該研究は〇〇に関するものであり、SCOPE における研究開発は〇〇に関するものであるため、
〇〇という点において異なる。

〇〇%

④経常的研究開発 研究内容を記載してください。 〇〇%

⑤経常業務 業務内容を記載してください。 〇〇%

1 0 研究者個人に関する研究キーワード

専門分野のキーワードを可能な限り電子情報通信学会の「専門分野分類表^{※1}」の中から5つ選んで記載してください。

※1 https://www.ieice.org/jpn/shiori/pdf/furoku_f.pdf

1 1 研究者経歴

以下の記載例1にしたがって記載してください。

プログラムが「若手 ICT 研究者等育成型研究開発」又は「若手ワイヤレス研究者等育成型」である場合において、提案要件「② 42歳以下の研究者であって、出産・育児や研究・技術開発以外の職業に従事した経験等、研究に従事していない期間について研究開発課題提案書に記述して申請する場合」を適用する場合には、「研究に従事していない期間」の詳細を含め、記載例2にしたがって記載してください。

(記載例1)

****年 **月 〇〇大学〇〇学部〇〇学科卒業
****年 **月 〇〇大学大学院〇〇学研究科〇〇専攻修士課程修了
****年 **月 〇〇大学大学院〇〇学研究科〇〇専攻博士課程修了
****年 **月 博士号取得 (〇〇学博士〇〇専攻)
****年 **月 〇〇〇〇株式会社 〇〇研究所
〇〇に関する研究開発に従事
****年 **月 〇〇〇〇株式会社 〇〇研究所 〇〇研究室 主任研究員
〇〇に関する研究開発に従事
****年 **月 〇〇大学大学院〇〇学研究科 教授
〇〇に関する研究開発に従事

(記載例2)

****年 **月 〇〇大学〇〇学部〇〇学科卒業
****年 **月 〇〇〇〇株式会社 営業部
〇〇の製造販売における営業に従事
****年 **月 〇〇大学大学院〇〇学研究科〇〇専攻修士課程修了
****年 **月 〇〇〇〇株式会社 〇〇研究所 〇〇研究室
〇〇に関する研究開発に従事
****年 **月～****年 **月 第1子出産に伴う育児休業を取得

1 2 研究開発課題に関連する主要な発表論文・著書・特許等

主なものを10件程度記入してください。

論文の場合、著者名、“タイトル”、雑誌名、巻、号、ページ、発表年(西暦)を記載してください。著書、特許も左記に準じます。

既存研究設備等説明書

研究開発課題名を記入してください。

設備名・ メーカー・型番	性能・仕様・ 購入（予定）年度	金額	使用目的	所有機関
〇〇研究設備 （メーカー、型番 などもわかる範 囲で記載くださ い。）	性能： 仕様： 購入（予定）年度：	単価 〇〇円 数量 □個 金額**, ***円		

◎注意事項

- ・本研究開発で使用する主要な**既存研究設備**や**自費調達設備**の名称・メーカー・形番、性能・仕様・購入（予定）年度、購入金額（税込）、当該研究における使用目的、所有機関について記載してください。
- ・研究開発内容説明書（様式 2）で記述した「研究開発計画」と対比できるように記載してください。

物品リース・レンタル計画書

研究開発課題名を記入してください。

設備名・ メーカー・型番	性能・仕様・期間	金 額	使用目的
〇〇研究設備 (メーカー、型番など もわかる範囲で記 載ください。)	性能： 仕様： 期間： (〇ヶ月間などと記載)	単価〇〇円 (1ヶ月) [XX年度] 〇〇円 (〇ヶ月) [XX年度] 〇〇円 (〇ヶ月)	

◎注意事項

- 研究開発に必要な機器設備の調達方法の決定にあたっては、購入とリース・レンタルで調達経費を比較し、原則、安価な方法を採用していただくことになります。
本研究開発以外での利用はできません。
- リース又はレンタルする設備の単価は、リース又はレンタル会社にて調査願います。
- 本様式の「使用目的」については、研究開発内容説明書(様式2)で記述した「研究開発計画」と対比できるように記載してください。

物品購入計画書

研究開発課題名を記入してください。

設備名・ メーカー・型番	性能・仕様 購入年度	金 額	使用目的	リース又はレンタルが 不可の理由
〇〇研究設備 (メーカー、型番な どもわかる範囲で 記載ください。)	性能： 仕様： 購入年度：	単価 〇〇円 数量 □個 金額**, ***円		【理由】 〇〇によりリース（レンタ ル）困難とのリース（レン タル）会社からの回答があ ったため。

◎注意事項

- 研究開発に必要な機器設備の調達方法の決定にあたっては、購入とリース・レンタルで調達経費を比較し、原則、安価な方法を採用していただくこととなります。本事業の研究費は「委託費」であるため、購入した物品は研究開発期間終了後に総務省所有の物品となります。原則として**本研究開発以外での利用はできません**。ただし、「競争的資金における使用ルール等の統一について」（平成27年3月31日）¹に基づいて「設備等一時使用報告書」を提出した場合はこの限りではありません。
- リース・レンタルと調達経費を比較せずに購入する場合は、リース又はレンタル不可の理由を必ず記載してください。なお、採択後の課題実施における経理処理手続では、リース又はレンタル不可の証明書を準備していただくこととなります。
- 本様式の「使用目的」については、研究開発内容説明書（様式2）で記述した「研究開発計画」と対比できるように記載してください。

¹ 内閣府ホームページ <http://www8.cao.go.jp/cstp/compefund/siyouruuru.pdf>

平成28年 4月 日

所属研究機関 ○○大学 ○○学部 ○○学科

役職名 教授

研究代表者氏名 ○○ ○○ 押印は不要

現在実施中の研究開発課題に対する不参画申請書

私は、戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）における今般の公募に対して、下記1に掲げる研究開発課題の研究代表者として提案するため、下記2に掲げるすべての研究開発課題の研究代表者の了解のもと、現在SCOPEで実施中かつ今年度も継続して実施予定である下記2に掲げるすべての研究開発課題の今年度以降の研究分担者から外れ、当該研究開発課題には参画しないことを誓約します。

また、今般の公募における審査の結果、下記1に掲げる研究開発課題が採択されなかった場合にも、下記2に掲げるすべての研究開発課題の今年度以降の研究分担者から外れることを約束します。

記

1 新規に提案する研究開発課題名

「」 研究開発課題名を記入してください。

2 現在実施中の研究開発課題

※研究分担者として登録されているすべての課題を記載してください。

- ・ 課題名：「の研究開発」（受付番号：000000000）
- ・ 研究代表者氏名：○○ ○○（所属：○○○大学○○学科）
- ・ 実施プログラム名：△△△△△△型研究開発
- ・ 研究期間：平成○○年度～平成○○年度（○年間）

3 上記2の研究開発課題の研究分担者から外れても当該研究開発課題の実施に影響を及ぼさない理由

